

1. 研究活動

海外研究員			
<p>名古屋芸術大学海外研究員として1年間ベルリンに滞在しドイツにおけるトーンマイスターによる録音とその教育についての以下3項目の研究に取り組んだ。</p>	<p>2012. 4. 1 ～ 2013. 3. 28</p>	<p>ドイツ・ベルリン</p>	
<p>1. 研究課題「クラシック音楽における録音技法の研究」 クラシック音楽の収録において音楽全体のイメージを決定づけるメインマイクの物理的設定（L-Rの間隔・マイクの種類・音源までの距離）が収録範囲にどのような影響を与えるかを解明することを目的とし、収録実験を2回行った。</p>			<p>収録実験 1 2012年8月にベルリン近郊のノイブランデンブルクでのユンゲ・ノルド・ドイチュ・フィルハーモニー（Die junge norddeutsche philharmonie）のプロコフィエフ 交響曲第5番セッション録音時に、無指向性マイクの向きの違いによる音質の違いの実験を行った。 収録実験 2 2013年3月にベルリン市内の教会とスタジオと、アコースティックが異なる2つ録音場所で、同一演奏者による、弦楽四重奏、ピアノトリオ、チェロソロについて、無指向性マイクの向きの違いによる音質の違いの実験と、メインマイクの位置の違いによる実験を行った。 両実験とも http://kazuyanagae.com/ で公開した。</p>

<p>2. 研究課題「トーンマイスター教育の調査と研究」 音楽大学にトーンマイスターコースを設置しているドイツでの事例について研究調査を行い、その成果を研究紀要第34巻にまとめた。 論文「ドイツにおけるトーンマイスター教育とその考察」—UdK ベルリン芸術大学の事例より— An Analysis of education of the Tonmeister in Germany : Universität der Künste Berlin 名古屋芸術大学 研究紀要 第34巻</p>			<p>日本の音楽大学における録音の教育カリキュラムを示唆していくために、1949年より音楽大学でトーンマイスターと呼ばれる録音の専門家の育成を行っているドイツでの事例について、入学試験、カリキュラム、卒業試験の内容を研究調査し、音楽的、技術的の両視点から分析して考察を行った。具体的には、ベルリン芸術大学が公開している文書資料、ウェブ・サイトの情報や、授業の聴講、卒業試験の立ち会い、教員や学生へのヒアリングを分析の素材とした。その結果から、ドイツのトーンマイスターの教育は、演奏者と同等のアーティスト = 芸術家を養成する教育として扱ってきたことがわかった。</p>
<p>3. 研究課題「トーンマイスターの実際の録音についての研究」 CD プロダクションや放送中継におけるトーンマイスターの実態を研究するために、約30件の中継・録音について、実際の作業にわりながら参加する機会が得られた。</p>			<p>ドイツの公共放送ドイツユラントラディオによる、ベルリンフィルハーモニーからのコンサートラジオ中継や、他レーベルと共同制作するジューメンズ・ヴィラや、イエスキリスト教会でのセッション録音を始め、その他さまざまなセッション録音に、トーンマイスターの善意により参加することができた。その結果、ドイツでのトーンマイスターによる録音について深く研究することができた。</p>
<p>寄稿</p>			
<p>サラウンド寺子屋塾 5.1 Surround Terakoya Lab 「ベルリンでのオーケストラ・サラウンドレコーディングについて」</p>	<p>2013. 1. 25</p>		<p>2012年5月にベルリン・フィルハーモニーで行われた、ペンタトーン・クラシックスとドイツユラントラディオとの共同制作による、マレク・ヤノフスキ指揮 RSB ベルリン放送交響楽団の3枚組 SACD 「ワーグナー・タンホイザー」の録音制作レポートを寄稿した。 http://surroundterakoya.blogspot.jp/</p>
<p>CD</p>			
<p>中部フィルハーモニー交響楽団 「第5回名古屋定期演奏会」 指揮:寺岡清高氏</p>	<p>2012. 6. 28</p>	<p>三井住友海上 しらかわホール</p>	<p>オーケストラ 編集 ミキシング ・スラブ舞曲 第1番 Op.46-1 ・スラブ舞曲 第10番 Op.72-2 ・弦楽セレナード ホ長調 Op.22 / A. ドヴォルザーク ・交響曲第1番ハ短調 作品68 / J. ブラームス</p>

2. 教育活動 (教育実践上の主な業績)

大学院授業担当 有 無

<p>授業科目</p>		
<p>◆前期 ◆後期</p>		
<p>工夫の概要</p>	<p>教材・資料等の概要</p>	

授業科目	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
授業科目	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要

3. 学会等および社会における主な活動

AES Audio Engineering Society	2007年より	役員（例会担当理事）
-------------------------------	---------	------------